



# 葉山のぎかい

発行日 平成18年7月28日

発行 葉山町議会 神奈川県三浦郡葉山町堀内2135番地 046 - 876 - 1111 編集 議会広報特別委員会



## 第2回（6月）定例会

- 平成18年第2回定例会関連記事…………… **2ページ**
- 委員会レポート…………… **4ページ**
- 一般質問（12人登壇）…………… **6ページ**

# こんなことが決まりました

## 第2回

## 6月

## 定例会

第2回定例会は、6月19日から28日まで開催しました。一般質問は12人の議員が登壇し、行政の課題をいただきました。議案は葉山町建築物の構造の制限及び地盤面の設定に関する条例等21件を審議しました。

町民からの陳情は各委員会へ付託され、4件を審査しました。

◎葉山町廃棄物の減量化、資源化及び適正処理等に関する条例の一部を改正する条例

事業系一般廃棄物の排出方法の見直しを図り、多量排出事業者への改善勧告制度の強化等を行い、廃棄物減量化、資源化への意識を向上させ、それらの一層の推進とともに一般廃棄物収集運搬業等の許可申請手数料を見直すため改正するもので、近藤昇一・畑中由喜子両議員の反対討論、佐野司郎議員の賛成討論があり、採決の結果、賛成多数で可決しました。

◎葉山町災害見舞金支給条例

自然災害や火災等により被害を受けた町民またはその遺族に対し、災害見舞金を支給することにより町民生活の安定と福祉の増進を図るものです。守屋亘弘議員の反対討論、畑中由喜子、近藤昇一両議員の賛成討論があり、採決の結果、賛成多数で可決しました。

◎葉山町建築物の構造の制限及び地盤面の設定に関する条例

本町の優れた住環境を保全するため、建築基準法に基づき建築物の構造の制限及び地盤面を設定するためのもので、全会一致で可決しました。

◎葉山町障害程度区分判定等審査会の委員の定数等を定める条例

障害者自立支援法が一部を除き本年4月1日施行に伴ない、障害者等の障害程度区分の審査及び判定等を行なうため同法により設置される審査会について、その定数等を定めるもので、全会一致で可決しました。

◎工事請負契約の締結

▲山口小学校校舎耐震補強工事

請負金額1億8564万円で、馬淵建設(株)と請負契約を結ぶもので、全会一致で可決しました。

▲下水道幹線・枝線築造工事

葉山処理区一色1号幹線築造工事(その3)

請負金額8505万円 (株)新井組横浜支店

葉山処理区(長柄)枝線築造工事(その8)

請負金額6361万9500円 西武建設(株)横浜支店

それぞれ賛成多数で可決しました。



### 原案に対する賛否明細表

第20号議案				提案理由概要	第19号議案			
定数1名削減 (18名 17名)					定数2名削減 (18名 16名)			
伊東圭介 ○佐野司郎 金崎ひさ 待寺真司 加藤清 笠原俊一 横山すみ子	鈴木道子 ○鈴木知一			賛成議員	金崎ひさ ○守屋巨弘 中村常光			
阿部勝雄 ○近藤昇一 ○畑中由喜子 ○守屋巨弘 森勝美 ○伊藤純子 中村常光					反対議員	伊東圭介 佐野司郎 待寺真司 阿部勝雄 ○近藤昇一 ○畑中由喜子 加藤清 笠原俊一	横山すみ子 鈴木道子 鈴木知一 森勝美 伊藤純子	

○印 = 賛成あるいは反対討論を行った議員

◎議長不信任案の動議提出  
近藤昇一議員が議長不信任案の動議を提出、鈴木道子議員が反対討論を、阿部勝雄・畑中由喜子両議員が賛成討論を行いました。賛成少数で否決しました。

◎葉山町議会議員定数の一部を改正する条例  
現状議員定数18名に対し、「議案19号(定数2名削減案)」と「議案20号(定数1名削減案)」が、それぞれ議会運営委員会審議を経て、本会議に上程されました。  
それぞれの賛否は記名投票により行われた結果、議案19号は賛成少数で否決、同20号は賛成多数で可決しました。



## みなさんからの 請願・陳情のゆくえ



葉山町の良好な海辺環境を保つ条例制定を求める陳情 .....趣旨了承

なお継続して審査します

葉山町議会の改革を推進するための陳情

子育て支援課の設置、小児科の誘致、堀内児童遊園にトイレ設置を願う陳情書

安全・安心の医療と看護の実現のため医師・看護師等の増員の意見書提出を求める陳情

良工事 2310万円

葉山町道525号線道路改良工事

2205万円

線道路整備工事

都市計画道路向原森戸

3706万5千円

換工事

バグフィルターろ布交

3759万円

チェーン取替工事

修及び各コンベアドラグ

No.1~4炉内耐火物補

工事 3969万円

し尿処理施設維持整備

2824万5千円

改良工事

真名瀬漁港2号物揚場

2362万5千円

線(その2)ほか築造工

葉山処理区一色1号幹

町長行政報告  
(1千万円以上5千万円未満の契約)

# 委員会レポート

委員長の提出原稿を基に編集しています。

## 総務建設

### 「葉山町建築物の構造の制限及び地盤面の設定に関する条例」

議会休会中の6月22日に担当職員の出席を求め、審査しました。この条例制定の目的は、今後、当町において懸念される、斜面地建築物による住環境の悪化に



下水道工事契約現地踏査

ました。採決の結果、全会一致で可決すべきものと決しました。

### 「工事請負契約の締結について」

- ・葉山処理区一色1号幹線
- ・葉山処理区(長柄)枝線
- ・葉山処理区(長柄)枝線
- ・葉山処理区(長柄)枝線
- ・葉山処理区(長柄)枝線
- ・葉山処理区(長柄)枝線
- ・葉山処理区(長柄)枝線
- ・葉山処理区(長柄)枝線

この2件の議案は、公共下水道整備計画に基づき実施される、1件当たりの契約金額が5000万円以上の工事請負契約の締結について諮るもので、一括して審査しました。2件の議案それぞれ、一色地区、長柄地区の国道134号線部分等に公共下水道の面整備として実施するものです。

審査は、現地に赴き工事箇所等について担当職員から説明を受けた後、新たに導入された電子入札制度、工法、夜間の工事騒音、安全対策、近隣住民への周知、緊急時の連絡体制、そして公共下

水道事業全体の進捗状況等について質疑がされました。委員からは、特に夜間・休日の連絡体制の確保、小規模業者への配慮等が必要との意見がありました。採決の結果、2議案はそれぞれ賛成多数により、可決すべきものと決しました。

### 「葉山町の良好な海辺環境を保つ条例制定を求める陳情」

この陳情は、平成17年11月29日、議会第4回定例会において議会休会中の審査として付託され、12月2日、3月14日、6月22日の3回にわたり担当職員の出席を求め、審査しました。

陳情の趣旨は、夏の海水浴場に設置される海の家から発生する音楽等の夜間騒音を防止し、葉山の良好な海辺環境を保つために営業時間を昼間主体とする条例制定を求めているものです。

担当職員の説明では、要がある。議会としてもこの問題には、今後も継続して対応する必要がある。

以上、様々な意見がありました。採決の結果、全会一致にて趣旨を承すべきものと決しました。

委員 伊東圭介

現在の沈静化しているとはいえ、海岸のあり方にはなお問題はあります。海岸の良好な環境を保つには、部分的な対応ではなく行政、町民、事業者、漁業者などの関係者が協力し環境全体を網羅した大きな形の中で取り組む、ルールづくりが必要である。

町も18年度から安全で快適な海岸を確保するため、葉山海岸創出・整備事業をスタートさせており、その推移も見守る必

## 教育福祉

### 「葉山町国民健康保険条例の一部を改正する条例」

国民健康保険法施行令の一部を改正する法律が施行されたことに伴い、介護納付金限度額引き上げ、公的年金等控除の見直しに係る経過措置、高齢者控除の廃止に係る経過措置の改正を行うものです。

その内容は40歳以上60歳未満の人の介護納付金賦課限度額を8万円から9万円に引き上げることと、公的年金等控除の見直しと高齢者控除の廃止により、負担増となるため、2年間の経過措置を

行つたための一部改正です。審査の中で、条例改正の複雑さはあるが、上位法の改正に伴つたものであり、やむを得ないとの意見がありました。審査の結果、全会一致により可決すべきものと決しました。

「葉山町障害程度区分判定等審査会の委員の定数等を定める条例」  
障害者自立支援法が施行されたことに伴い、障害者等の障害程度区分の審査及び判定等を行うため、同法により設置される審査会について、その定数等を定めるため制定するものです。

### 「葉山町災害見舞金支給条例」

自然災害や火災等により被害を受けた町民またはその遺族に対し、災害見舞金を支給することにより町民生活の安定と福祉の増進を図るため、制定するものです。

審査の中で、委員から修正動議があり、甲慰金の額が25万円と低いいため返子市と同額の70万円とする修正案が提出されましたが、採決の結果、否決しました。

なお、支給の方法が被害者または遺族の申請によるものなので、制度の周知を図るべきとの意見がありました。審査の結果、全会一致により可決

すべきものと決しました。別委員会を開催いたしました。テーマの1点目は事業系一般廃棄物の排出方法等に関する規定の変更についてでありました。担当職員から説明を受け、質疑を行いました。6月

### 「葉山町障害程度区分判定等審査会の委員の定数等を定める条例」

障害者自立支援法が施行されたことに伴い、障害者等の障害程度区分の審査及び判定等を行うため、同法により設置される審査会について、その定数等を定めるため制定するものです。

審査の中で、委員定数は7名以内となっているが、内科と小児科の医師2名と学識経験者3名の5名を予定しているとの説明がありました。委員構成として精神科等の医師が必要ではないかとの意見がありました。審査の結果、全会一致により、可決すべきものと決しました。

委員長 金崎ひさ

### ごみ問題特別

5月9日にごみ問題特

別委員会を開催いたしました。テーマの1点目は事業系一般廃棄物の排出方法等に関する規定の変更についてでありました。担当職員から説明を受け、質疑を行いました。6月定例会に条例案を提出する予定のもので、内容は、これまで町が行ってきた事業系ごみの収集を行わず、排出方法を直接搬入若しくは一般廃棄物収集運搬許可業者への委託に見直しを図り、減量化、資源化を推進するために多量排出業者に対する規定を強化し、管理責任者の選定、計画書の作成等を義務付け、さらに罰則を設けて意識の向上を図るというものでした。またこの際、直接搬入の有料区分を20kgから10kgにし、一般廃棄物収集運搬業の許可手数料を近隣並みに見直したいという意向も示されました。内容の細かい点や対象者への説明方法について活発な質疑がありました。

2点目は容器包装プラスチック分別収集についてでありました。町が目指すごみ処理広域化の枠組みの2市1町で、当町だけがまだ行っていない事もあり、かねてよりの計画を実現させたいというものでした。これについても処理費用の負担をはじめ非容器ごみの処理や分別、収集方法にいたる細部について質疑が行われました。

委員長 佐野司郎

### 議会運営

5月26日、6月9日に議会改革について協議のため開催しました。

6月14日、20日、26日、28日に第2回定例会の日程、議案、陳情等の取り扱いについて協議しました。

「議案19号葉山町議会議員定数条例の一部を改正する条例」

この条例は町民から提出された、「葉山町議会

議員の削減を求める要望書」を踏まえ、議員定数の削減を行うことにより、行財政改革の範を示し、効率的、効果的な町政運営を確保するとして、2名の議員定数削減を提案するものです。

### 「議案20号葉山町議会議員定数条例の一部を改正する条例」

この条例は、国・地方自治体は行財政改革を推進している中、他自治体の動向、社会情勢等を考慮し、1名の議員定数削減を提案するものです。それぞれ関連のある議案であり、一括して審査を行い、委員からは次の意見がありました。

### 【賛成意見】

定数が削減されても、町民の声は、反映させることも可能である。

町は行政改革大綱に基づき職員定数の削減を行っている。議会も議員定数削減により効率的な町政運営に寄与すべきである。

この条例は町民から提出された、「葉山町議会

前回の定数削減は、陳情・請願を受けたものであったが、今回は議員自ら提案したものであり、定数についての参考人招致等の必要はないと考える。

### 【反対意見】

議員定数の削減は、地方自治の根源に関わる重要な問題であり、定数のあり方について十分な議論が必要である。

議員の大きな役割は、町民の事を議会に反映させることであり、安易に定数削減は行つべきではない。

定数削減の前に、議会内の様々な経費削減について、議論すべきである。

審査の結果、参考人招致、継続審査の動議も提出されましたが否決。議案19号は賛成少数により否決。議案20号は賛成多数により、可決すべきものと決しました。

「葉山町議会の改革を推進するための陳情」については継続審査としました。

委員長 鈴木道子



葉山ふれあい市場

# 質問

質問者の提出原稿(11字×50行)を基に編集しています

金崎ひさ

10月からのゴミ分別について  
町長 容器包装プラを増やし10品目になる



各字で説明会を開催する。

日は。

問 要望により何回も出

前説明を行うのか。

福祉環境部長 他物の

収集日になっていない日

福祉環境部長 十分に対

応したい。

問 それが資源ごみ全般

の収集日となるのか。

問 容器包装リサイクル

法によるプラスチック分

別が10月から行われるが、

周知するため分別研修を。

町長 町民との協働の観

点が該当するの判りづ

らい。その周知方法は。

福祉環境部長 8月から

問 容器包装プラの収集

問 ミックスペーパーだけ

森 勝美

町長 朝市で販売強化を図る

地産地消の積極的推進を

増し朝市で販売。

問 地産地消で農業経営

の収益を上げるための流

通対策は。

都市経済部長 各団体と

協議をしている。

問 団塊の世代の活力導

入で、援農だけでなく新

規就農を促進し農業生産

の体制強化を。

問 複合施設の建築確認

を設計者が、県より高い

申請した。耐震強度構造

計算を議会の要請で第三

回は、容器包装プラの

収集日と一緒にすべきだ。

町長 担当から話を聞いて

対応を考えたい。

問 ダンボール、雑誌、

古繊維は17の資源回収協

力団体へ、新聞は新聞販

売店へ、トレイはマーケ

ットへと、町民に周知徹

底することにより減量化

を進めるべきだ。

福祉環境部長 実現して

いきたい。

問 それらの処理単価を

知らせるなど解りやすい

形での協力依頼を。

者機関に委託し、町が費

ない」と述べ、来場者は

用負担をした。完成まで

の検査は県に委託した

が、二重の出費は妥当で

なく不手際と思うが。

町長 設計者も申請当時

は想定出来なかったと思

う。

問 相光会の介護老人保

健施設の竣工式で、湘南

町長 来賓の言葉じりを

捉えて議論する場でない。

問 油分別について。

福祉環境部長 直接持ち込

みにより資源化している。

教育長 給食廃油は業者

## 容器包装プラスチックとは



横山すみ子

# 学童保育の今後の方針は

## 町長 民間の力についても検討の中で調査する



20名、0歳、1歳が多い。

**問** 福祉課前に開設したキッズコーナーは良い企画。今後の予定を伺う。

**町長** 秋の庁舎内の配置換えの中で考えていく。

**問** 町施設のアスベスト調査の結果と、緊急を要するものへの対策は。

**町長** 全100施設のうち、吹き付け材で1施設、成形板で2施設、一部認められた施設が35施設、認められなかった施設が62施設。緊急を要するものは、すでに囲い込みなどが終了している。他は順次対応していく。



葉桜児童館の子ども達

**問** 保育所入所待機児童数が増加傾向にある。乳幼児の待機数も多く、対策が必要である。

**町長** 秋に移転する新しい保育園でも検討する。

**福祉環境部長** 待機児童数

**問** 学童保育充実のため、

## 笠原俊一 枠配分予算編成について伺う

### 町長 職員の意識改革から限られた財源を有効に生かし配分した



**問** 枠配分方式は従来にない発想と工夫が必要だが理解され反映されたのか。

**町長** 各課における積極的な財源確保や新たな発想による事業の選択、目的・内容に応じた重点配分から、限られた財源を

有効に生かす努力が芽生え、たとえばキッズコーナーなど従来にないアイデアも生まれた。

**問** 定期的な固定経費の残りが枠配分の財源であり、大部分の人員費抑制については。

**町長** 行政改革大綱、集中改革プランからも対応を進める。

**総務部長** ラスパイレス指数は昨年度から1ポイント下がった。

**問** 指定管理者制度創設の趣旨から民間活力の導

入と拡大はどうか。

**町長** 経費縮減と利用者サービスの両面より今後十分考慮し、対応を考えたい。

**問** 桜山トンネル拡幅工事の進捗状況は。

**町長** 18・19年度は逗子側坑口部斜面工事と用地解決。21年度新設トンネル供用開始、22年度既設トンネル改良後供用開始予定。



工事中の桜山トンネル

伊藤純子

### 長柄小のアスベスト対策は

### 町長 3方法を協議しながら進める



問 10月からスタートする容器包装プラスチックの分別収集の詳細は。

町長 容器包装プラスチックの日として可・不燃の日以外に週一回。

問 非容器包装プラは今は生ごみと混載して千葉でサーマルリサイクルと

福祉環境部長 原則は平成22年度。18年度に向けて交付

問 町は循環型社会形成推進交付金制度の対象とならないことを理由に地域計画をすすめているが事業開始を何年度としているのか。

福祉環境部長 特段の方向性は持っていない。

問 町は循環型社会形成推進交付金制度の対象とならないことを理由に地域計画をすすめているが事業開始を何年度としているのか。



長柄小の倉庫内

や関係法令の趣旨を踏まえた総合的な検討を要請

町長 地域の土地利用現況調査の結果を見きわめ、地域の方々と共に地区計

問 いまや、最重要課題

町長 子育て家庭、地域社会、各種団体がそれぞれ立場に応じて役割分担と協働による子育て支援に取り組めるような体制づくりに努めていく。



畑中由喜子

### 海辺の環境保全に関する対策は

### 町長 本来の趣旨に該当しない利用方法の自粛などを求めていきたい

金申請のために地域計画を策定中だが排出量を何トンと見込み、何年度の現状をゼロとして目標値をどのくらいとするのか。また、組織形態は。

福祉環境部長 今年度は案をつくるが具体的な数値についてはお答えできない。組織は一部事務組合と市町村間の協定等。

問 アスベストについて38カ所の内、種類による危険性の高いところは。総務部長 吹き付け材使用3カ所あり、第三汚水処理場、クリーンセンタ

し、現在協議を重ねている。深夜営業の問題等々。本来の趣旨には該当しない利用方法かと思う。なるべく自粛なり、もっと時間を短縮してもらえよう海岸組合と話をし、また警察とも一体になって対応を図っていきたい。

問 一色上原地区の地区計画の進み具合と区域内の国有地の取得見通しは。

町長 都市計画の現況と課題を整理しながら、目標年次以降の見直しも検討していく。

町長 都市計画の現況と課題を整理しながら、目標年次以降の見直しも検討していく。

森戸海水浴場を望む





# 守屋 亘弘

## 葉山町観光協会の納税実績は 町長 利益なく納税せず



**問** 町長が会長を兼務の葉山町観光協会は庁舎1階の売店・しおさい公園内の売店事業と長者ヶ崎・真名瀬・三ヶ岡の3カ所での駐車場事業を営んでいるが、これら収益事業に係る収支実績並びに納税実績は。

**町長** 同協会は独立した一つの団体。そのような団体の事柄につき答弁する必要はないが、公共性を重視した運営を行っている。従って納税は行っていない。

**問** 両売店並びに長者ヶ崎・真名瀬両駐車場は町有地であり、三ヶ岡駐車場は県から町が無料駐車場として占有許可を得ているが、それを同協会に

又貸して同協会が有料駐車場を営んでいる。町民として町の財産管理につき考えるのは当然のこと。三ヶ岡駐車場は目的外使用では。

**町長** 5年ごとに占有許可に経営を委託している。理由は、可の更新をし、有料駐車場に至った経緯は前々から県の方にお話をし、了解を得ている。

**町長** 同協会の性質からみて収益事業を行っている場合、納税の義務がある。同協会の収支実績の提出は、**町長** 来ていただければいつでもお見せする。

**問** 庁舎1階売店を同協会に経営を委託している

**町長** 理由は、可の更新をし、有料駐車場に至った経緯は前々から県の方にお話をし、了解を得ている。

**問** 同協会の性質からみて収益事業を行っている場合、納税の義務がある。同協会の収支実績の提出は、**町長** 来ていただければいつでもお見せする。

**町長** 理由は、可の更新をし、有料駐車場に至った経緯は前々から県の方にお話をし、了解を得ている。



三ヶ岡駐車場風景

中村 常光

## 改正道交法で町職員が安心して公用車で公務を行える対策は町長 検討している



**町長** 6月1日よりの改正道路交通法は、駐車違反取締りの民間委託と同時に摘発の手法も変わって、従来のタイヤにチョークで印を付け、10分、30分後に違反ステッカーを貼る方式を、改正後は違反を確認したらデジタ

ルカメラで車を撮影する等して、すぐにステッカーを貼る方法に変更するものである。

**問** この様な状況の中で警察は悪質・危険・迷惑な違反を重点に、短時間の放置駐車取締りを強化するものである。よって町職員が安心して公用車で公務を行うことができ

る様、町当局はどの様な対策を立てられたか。

**町長** 県の細則に基づき

交通規制の対象から除外される車両が相当数あると思われるが、考慮される様に手続きを行っていきたい。

**安全運転の管理義務**  
道路交通法を遵守させる義務

改正道交法6月1日より実施に  
対し駐車違反取締りの対策!!!

**安全運転管理者**

えなければならず、並行して検討している。

待寺真司

### 子育て支援センター運営方法の早期検討を 町長 現保育園耐震2次診断後施設整備と並行し検討する



**問** 子育て支援センター開設に向けて、施設整備の方針と具体的な運営方法を検討するべきだが、

**町長** 現保育園の有効活用を予定。近々行う耐震2次診断の結果を踏まえ、大体の方向性を見出す中

**問** 子育て支援センター開設に向けて、施設整備の方針と具体的な運営方法を検討するべきだが、

**町長** 懇談の中で、色々な意味で教えられた部分もあり、お知恵を借りる事は大変有意義である。

**問** 先般視察に行った仙台市では、特別支援教育推進に対して市教育委員

で並行して検討を進める。

**問** 運営・管理方法については、「葉みんぐ」の編集に携わっていたいただいた皆様に働きかけて、早急に意識調査を行うては。

会の積極的な取り組みが印象的だった。町教育委員会との体制づくりは。

**教育長** 個別教育支援計画の作成や校内支援委員会の設置などを進めてい

る。また教育相談コーネ

ルでできるか考慮する。

イネーター育成のため、

町主催の研修会に参加する

など推進に努める。

**問** 犯罪や交通事故などから子ども達を守るため、町全体での啓発活動としてキャッチフレーズ等の募集を行っては。

**町長** 様々な問題を再度洗い出し検討する中で、多くの方々に周知・アピールできるか考慮する。

近藤昇一

### 学校の防火シャッターの安全対策は 来年から1校ずつでも進めたい



**問** 最近、学校を発生場所とする犯罪、事故の件数が増加している。6月7日には、新潟県で1年生が防火シャッターと床の間に首の周りを挟まれ、意識不明の重体になるという事故も起きている。

**町長** 葉山町の場合、防火シャ

ッターに対する安全対策は、

継続的に進めたかったが、

さまざまな事情でできなかった。来年から、1校ずつでも進めていきたい。

**問** 横須賀基地に配備が計画されている米原子力空母で原子炉事故が起きれば、7万7000人が犠牲になると、アメリカの大学教授が明らかにしている。葉山町民にも大きな影響を与える。町長の対応は。

**教育次長** 17年度で一色小で設置した。本来、完全に安全を期す。

**町長** 県や周辺自治体とも連携して、情報の収集に努め、町民の安全の確保に向け、一層努力する。

**町長** 県や周辺自治体とも連携して、情報の収集に努め、町民の安全の確保に向け、一層努力する。

**町長** 県や周辺自治体とも連携して、情報の収集に努め、町民の安全の確保に向け、一層努力する。



テスト中

一色小安全装置付防災シャッター



現在の葉山保育園外観

鈴木道子

# 助成金を活用しソーラー発電を導入すべきだ 町長 十分検討する



**問** ソーラー発電導入の意志について伺う。

**町長** 環境に優しいエネルギー源としての有効性が広く認められており町環境基本計画にも位置づけられているが、コスト面など問題があり検討が必要だ。



ソーラー発電機付電灯

**町長** 十分検討の余地がある

**問** 「グリーン電力基金の助成」で昨年は県内8カ所に設置された。環境教育目的は助成単価として設置費用の85%、200万円上限の助成だ。ハイブリット方式は蓄電量が

多く、日常は街灯も数灯設置することができ、夜間の体育館利用者にも有益だ。災害時は非常用電源にもなる。応募する価値があると考えるが。

**町長** 十分検討の余地がある

あると感じる。検討する。

**問** 環境教育の面からも実現すべきだが、どうか。

**教育長** 内容を精査して、町長の方と調整していく。

**問** 通学路の安全整備に

る「安全マップ」の作成

について特に返葉新道沿いの対応は。

**教育長** 認識している。各課と連携の上対応する。

**問** 今後の問題として、建築物申請の段階での情報があるが、どうか。

**町長** 対応を図るべく、努力をしていく。

**問** 子どもが自分達で作

る「安全マップ」の作成

についてはどうか。

**教育長** 小学校では保護者と先生で作ったものはできています。子ども達が

独自に手を入れればいる歩いて危険箇所を印をつけること等も良いと思う。

## 阿部勝雄 町長 事業系ごみには効果があると言った話も聞いた



して間がなく、認定審査の

を受けた介護度1の人が19人、うち4件。

**問** 要支援者への予防プラン作成状況は。

**福祉環境部長** 委託も含めて56件。

**問** 委託は何件か。

**福祉環境部長** うち委託は30件。

**問** 町長はごみ有料化は減量化につながらないと

の。

**町長** 事業系ごみの有料化は、減量化に結びつく

効果が出ているという話も耳にしている。

**問** 日量3kg以下の排出量となる事業所数は。

**町長** 有料化の対象となる事務所は約500、搬出量日量3kg以下に該当する事業所は約100。

**問** 72事業者の回収廃止のみとはならないのか。

**福祉環境部長** 現在の有

料事業者に対して不公平な対応になる。

**問** 72事業所と持ち込み事業所との差は4年間も

続けてきたが。

**福祉環境部長** 適用除外の事業者や日量3kg以下の事業者はステーション

に出している。

**問** 最後に、足切り部分を10kgに下げた理由は。

**福祉環境部長** 一般家庭のごみ量と合わせた。



ステーションに出された事業系廃棄物

# 議会活動日誌

今回は、平成18年第1回定例会終了以降、第2回定例会終了までの活動報告をいたします。

3月	28日 議会広報特別委員会	19日 本会議(定例会)
	29日 議会広報特別委員会	" 議会広報特別委員会
4月	4日 議会広報特別委員会	20日 本会議(定例会)
	6日 議会広報特別委員会	" 議会運営委員会
	11日 議会広報特別委員会	21日 本会議(定例会)
5月	9日 ごみ問題特別委員会	22日 総務建設常任委員会
	26日 議会運営委員会	26日 議会運営委員会
6月	9日 議会運営委員会	28日 総務建設常任委員会
	13日 全員協議会	" 議会運営委員会
	14日 議会運営委員会	" 本会議(定例会)

## 伊藤 純子氏が議員を辞職されました。

平成18年7月6日、伊藤純子議員が一身上の都合により、議員辞職願いを伊藤友子議長宛に提出し、翌7日に法令に基づき議長は、辞職願いを許可いたしました。

なお、伊藤純子氏は、平成11年4月の町議会選挙で初当選し2期目でした。辞職直前には、教育福祉常任委員会、議会広報特別委員会等の委員として活動されておりました。

## 表紙説明

7月1日(土)に開催された、葉山町漁業協同組合主催による、都市漁村交流活動推進事業「さかなの放流事業」の1コマです。

当日は「平成18年度葉山町海水浴場開き・海上保全祭」を執り行い、夏の期間の安全を祈願したのちに、大勢の親子連れの参加により、ヒラメの稚魚を約5000匹放流しました。

城ヶ島にある神奈川県栽培漁業協会で生後4カ月、体長8センチから10センチ程度まで育ったヒラメをバケツ

に移して、森戸の海に放流しました。

大事そうに手から直接放流するお子さんもいて、無事に大きく育つてくれるよう祈っていました。

子ども達の歓声が鳴り響き、とても楽しく素晴らしい事業でした。



ヒラメの稚魚を放流

## 表彰

去る5月17日、横山すみ子議員が、11年連続在職により、神奈川県町村議会議長会会長から表彰を受けました。

おめでとつございませう。

平成18年第3回定例会は、9月20日(水)からの予定です。皆様の傍聴をお待ちしています。



編集作業にいそしむ庁舎の三階からの景色はもうすっかりと夏模様。

決まりどおり、原稿を提出してこない議員への恨み言を並べつつ奮闘して5日間を費やす。

ある日の昼休み、毎月、議員が購読している、議員研修誌「地方議会人」の記事が目にとまった。

第20回町村議会広報全国コンクール審査委員長が総評の中に書いたもので、一般質問についてである。

議会だよりは議事録ではありませんから全部を掲載する必要はありません。掲載する質問を決めるのは質問議員ではなく編集委員会の権限です。

議会だよりを「われわれ議員の議会だより」という風潮がまだあります。「議員の」ではなく、「地元民の」が正しいと思います。一般質問も「議員個人」となっては困り

ます。公文書なんですから、評価され掲載されるにふさわしい質問をしましょう。という内容のもの。

ところで「葉山のぎかい」では、質問者が書く原稿をそのまま掲載している。従って、掲載するにふさわしいかどうかの判定は、読者にお願います。

しかし、1時間を50行にまとめ、しかも自分のものを自分で書くのだから、実体とかけ離れてしまうこともあるかもしれない。

さて読者の皆様にはいかがお受けとりいただけるのでしょうか、心配なところではあります。

7月20日記 佐野司郎

